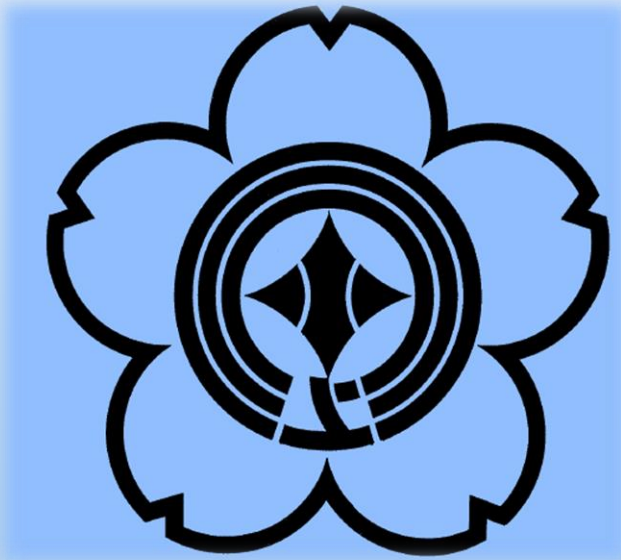


令和4年度

学校評価【前期】結果



岩国市立川上小学校

学校教育目標（小中一貫教育目標）

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成

経営方針

めざす学校像	3つの元気がある学校（子ども、家庭・地域、教職員）
めざす児童像	主体的な子ども：気付き・考え・行動する かしこい子（知）、やさしい子（徳）、たくましい子（体）
めざす教師像	自ら学ぶ教職員、協働する仲間、ワークライフ・バランス
めざす家庭・地域像	ともにある、つながり、コミスクの充実

本年度努力点

<川上っ子チャレンジ目標>

- 1 大きな声と笑顔であいさつしよう
- 2 みんなでなかよく遊ぼう
- 3 始まりと終わりの時刻を守ろう
- 4 進んで働こう

<小中一貫教育共通取組事項>

- 手を置き、目を向け、最後まで聞こう
- 進んであいさつをしよう
- 黙って掃除をしよう
- 時間を守ろう

3つ（子ども、家庭・地域、教職員）の元気がある学校を目指した重点取組事項

重点取組事項			実践内容	
子どもが元気	主体的な子ども		○学校教育活動・家庭生活での啓発	
	かしこい子	学習指導	○読む・聞く、理由をつけた説明力 ○多様な考えもつための関わりの場	
			○めあて・まとめ、振り返り ○朝学習、家庭学習、自学ノート	
	しんたくい子	体力向上	○マイスポーツ、朝運動、全校遊び ○早寝、早起き、朝ご飯（基本的な生活習慣）	
	やさしい子	生徒指導	あいさつ	○あいさつ+αプロジェクト
			なかよく	○授業、児童会活動、休み時間
			規範意識	○始まりと終わりの時刻厳守 ○掃除・グリーンタイム
			いじめ	○いじめ防止宣言（開発的生徒指導）
家庭・地域が元気	地域連携	コミスク	○地域に元気を届ける活動 ○地域のために何かしたいと考える ○情報発信	
		ひと・もの・こと	○小小連携、小中一貫、地域協育ネット ○学校・地域協働活動 ○ひと・もの・こと	
教職員が元気	人材育成	資質・能力向上	○授業改善、研修会開催・参加 ○協働、総ぐるみの学校運営	
		働き方改革	○ワーク・ライフ・バランス	

アンケート肯定的評価 90%以上 80%~90% 70%~80% 60%~70% 60%未満

重点目標・重点取組事項		実践内容	児童アンケート	保護者アンケート	教職員アンケート	
子どもが元氣	めざす子ども	主体性	学校教育活動・家庭生活での啓発 学習や生活の中で、「気付き・考え・行動する」ことができている。(75%)	お子様は、学習や生活の中で、気付きをもったり、自分で考えて行動したりすることができている。(88%)	児童の気付きや考えを生かす教育活動を仕組むことができている。(60%)	
		学習指導	〇読む・聞く、理由をつけた説明	自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができている。(81%)	お子様は、自分の考えや意見に、理由をつけて相手に伝えることができている。(88%)	自分の考えを根拠をもって伝えることができる対話場を学習活動に設定することができている。(60%)
	〇多様な考えもつための関わりの場		友達の意見を聞いたり、タブレットで調べたりしながら、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができている。(88%)	お子様は、他者の考えや意見を踏まえたり、自分から調べたりしながら、学習に取り組むことができている。(81%)	多様な他者とのかかわりの中で、児童が考えを深めることができる学習活動の在り方を工夫することができている。(80%)	
	学習指導	学習習慣定着	〇めあて・まとめ、ふりかえり	目標をもって学習に取り組み、最後にふりかえることができている。(100%)	お子様は、目標をもって学習や活動に取り組み、振り返ることができている。(69%)	課題提示を工夫したり、振り返りを次の学習や活動へつなげたりしながら、主体的に学習へ取り組みめるような学習支援ができている。学習活動に取り組むことができている。(80%)
		〇朝学習、家庭学習、自学ノート	言われなくても宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができている。(63%)	お子様は、声をかけなくても宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができている。(38%)	児童が目標をもち、進んで家庭学習に取り組めるような学習支援や評価ができている。(80%)	
	体力向上	〇マイスポーツ、朝運動、全校遊び	体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができている。(88%)	お子様は、体力を高めるために目標をもって生活することができている。(63%)	児童の体力の現状と課題を把握し、児童が目標をもって体力向上に取り組む場の設定や評価ができている。(80%)	
		〇早寝、早起き、朝ご飯(基本的生活習慣)	早寝、早起き、朝ご飯ができている。(75%)	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯など、基本的生活習慣を意識して生活することができている。(50%)	児童に基本的習慣が定着する仕掛けの設定や評価ができている。(80%)	
	生徒指導	あいさつ	〇あいさつ+αプロジェクト	進んで、大きな声と笑顔であいさつをすることができている。(88%)	お子様は、誰に対しても大きな声と笑顔であいさつをすることができている。(94%)	大きな声と笑顔であいさつできる場の設定と評価に取り組むことができている。(100%)
		なかよく	〇授業、児童会活動、休み時間	みんなと仲良く遊ぶことができている。(100%)	お子様は、誰とでも分け隔てなく仲良く遊ぶことができている。(94%)	児童が主体的に遊ぶことができる場や仕掛けの設定ができている。(100%)
		規範意識	〇始まりと終わりの時間を守る	時間やきまりを意識して行動することができている。(75%)	お子様は、時間やきまりを守って生活することができている。(50%)	きまりの遵守や規範意識を育てる場の設定と評価に取り組むことができている。(100%)
			〇掃除・グリーンタイム	掃除やグリーンタイムのときなど、進んで働くことができている。(88%)	お子様は、進んで働くことができている。(63%)	主体的に児童が働くことができるような、場の設定と評価に取り組むことができている。(60%)
	いじめ	〇いじめ防止宣言	誰かにいじめられたり、誰かをいじめたりすることのない、いじめやいじりのない学校だと思ふ。(88%)	学校は、いじめ対策や教育相談体制を整え、子どもにとって学校が安心・安全な環境となっている。(88%)	いじめ防止基本方針に則り、全教職員で連携して、児童理解と開発的生徒指導に取り組むことができている。(100%)	
家庭・地域が元氣	地域連携	コミスク	〇地域に元気を届ける活動	川上地域に「元氣」を与える活動ができている。(100%)	学校は、郷土(川上・周東・岩国)に誇りと愛着をもてるように教育活動に取り組んでいる。(100%)	ふるさとを愛する心を育む教育活動や指導場面の工夫ができている。(80%)
			〇地域のために何かしたいと考える	地域や地域の人のために、何かをしたいと考え、行動することができている。(63%)	学校の教育活動は、地域や地域の方々に元気を与えることができている。(100%)	学校の教育活動は、地域や地域の人に元気を与えるための工夫ができている。(100%)
			〇情報発信	学習したことを、お家の人や地域の人に、伝えたり、発表したりすることができている。(75%)	学校は、様々な方法で情報発信することができている。(100%)	学校での児童の様子や出来事の見える化を図るとともに、様々な方法で情報発信することができている。(100%)
	ひと・もの・こと	〇学校・地域協働活動	〇小小連携、小中連携、地域協育ネット	中学校や他の小学校の先生に教えてもらったり、他校の子どもたちと交流したりするのは楽しい。(100%)	学校は、周東町の中学校や他の小学校と連携した活動に取り組んでいる。(100%)	小中一貫教育を意識した小中連携や小小連携の取組を進めることができている。(100%)
			〇ひと・もの・こと	学校で、お家の人や地域の人と一緒に授業やいろいろな活動をするのは楽しい。(88%)	学校は、保護者や地域の意見・要望を踏まえて教育活動に取り組んでいる。(100%)	保護者や地域の意見・要望も踏まえながら、家庭・地域と連携した教育活動に取り組むことができている。(100%)
			〇ひと・もの・こと	川上の「人・もの・こと」の素敵について、説明することができる。(88%)	学校は、地域の「人・もの・こと」を活用しながら教育活動に取り組んでいる。(100%)	コミスクの仕組みを生かし、「人・もの・こと」を教育活動に組み入れた教育課程編成ができている。(100%)

かしこい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができる。	88%	88%	60%
2 友達の意見を聞いたり、タブレットで調べたりしながら、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができる。	88%	81%	80%
3 目標をもって学習に取り組み、自分の学びを振り返ることができる。	100%	69%	80%
4 進んで宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができる。	63%	38%	80%

<分析>

- + 多様な考えをもつためのかわりについての項目では、児童・保護者・教職員共に肯定評価が高い。
- + 児童は授業のめあてを意識しながら学習に取り組み、学びを振り返ることができている。
- 家庭学習の取組に課題が見られる。

<今後の方向性>

→ 主体的に家庭学習に取り組むことができるような手立てを協議し、家庭と連携しながら実践していくことが必要である。

たくましい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができる。	88%	63%	80%
2 早寝、早起き、朝ご飯（基本的生活習慣）ができる。	75%	50%	80%

<分析>

- + 朝ランニング、全校遊び等の活動から、進んで運動に取り組むことへの児童の肯定的評価は高い。（※家庭での実践は個人差がある。）
- 基本的生活習慣の定着に課題がある。

<今後の方向性>

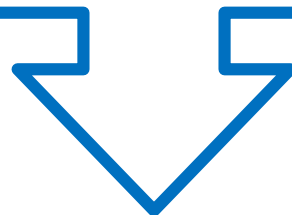
→ 家庭と連携しながら、マイスポーツプロジェクト（体力向上・生活習慣定着）を実践し、成長や進歩を価値づけ、継続する意欲につなげる。

やさしい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 進んで、大きな声と笑顔であいさつをすることができる。	88%	94%	100%
2 みんなと仲良く遊ぶことができる。	100%	94%	100%
3 時間やきまりを意識して行動することができる。	75%	50%	100%
4 掃除やグリーンタイムのときなど、進んで働くことができる。	88%	63%	60%
5 誰かにいじめられたり、誰かをいじめたりすることのない、いじめやいじりのない学校である。	88%	88%	100%

<分析>

- + あいさつ、仲良く活動する、いじめのない学校についての項目は、3者が共通して肯定的評価が高い。
 - ※ 毎日のあいさつプラスワンプロジェクトや週1回の情報共有会の成果
- きまりを守ることはできているが、自分が決めた目標時間を守ろうとする意識が低い。
- 掃除や委員会活動などで、指示されたことにはまじめに取り組めるが、自分から仕事を見つけて働くことはできていない。



<今後の方向性>

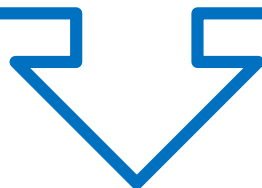
- 自分が決めた目標時間を守るように、個別指導を行う。
- 掃除や委員会活動などにめあてをもって取り組ませ、振り返りや適切に価値づけを行う。

地域連携

評価規準	児童	保護者	教職員
1 学校は、川上地域に「元気」を与える活動ができている。	100%	100%	80%
2 子ども・教職員、保護者他学校関係者は、地域のために、何かをしたいと考え、コミスク運営ができている。	63%	100%	100%
3 学校は、コミスクとしての取組情報を発信することができている。	75%	100%	100%
4 小小連携や小中一貫、地域協育ネットを生かした教育活動ができている。	100%	100%	100%
5 家庭、地域と連携した教育活動ができている。	88%	100%	100%
6 地域の「人・もの・こと」を活用して教育活動に取り組むことができている。	88%	100%	100%

<分析>

- + 地域に元気を与える活動、他校との連携教育活動、家庭・地域と連携した教育活動について、3者が共通して肯定的評価が高い。保護者と教職員は、コミスクの取組情報発信についても、肯定的評価が高い。
- 児童は、地域のために何かをしたいという意識が低い。
- 児童は、川上のよさについて具体的に説明できない。



<今後の方向性>

- 自分たちの学習や生活が地域の方に支えられていることや、地域の方の思いを子どもたちに伝える。
- 川上学や他教科で学んだ川上のよさを伝える方法を児童に考えさせ、伝える場を設定する。

学校評価（前期）総括

【かしこい子】

- ◇ 主体的に家庭学習に取り組むことができるような改善策について協議し、家庭・地域と連携しながら実践していく。

【たくましい子】

- ◇ 家庭と連携しながら、マイスポーツプロジェクトを実践し、体力向上・生活習慣定着を図る。

【やさしい子】

- ◇ 自分が決めた目標時間が守ることができるように、家庭と連携しながら個別指導を行う。
- ◇ 主体的に働く意識を育てるために、掃除や委員会活動などにめあてをもって取り組ませ、振り返りや適切に価値づけを行う。

【地域連携】

- ◇ 自分たちの学習や生活が地域の方に支えられていることや、地域の方の思いを子どもたちに伝え、ふるさとを愛する心や地域のために役に立ちたいという思いを育む。
- ◇ 川上学や他教科で学んだ川上のよさを伝える場を設定し、川上のよさを語れる子を育てる。